

第 1 分科会 食事介助

病院や介護施設では「胃ろう」のみならず、人手不足で、食べる楽しみを十分に保障できない大きな悩みとなっています。「口から食べるケア」が人間の尊厳につながる大事な要素であり、在宅医療・介護施設の食事や看取りのなか「口から食べる」の実技・事例を学びます。多職種で交流し明日からの実践につなげていきます。

第 2 分科会 大切にしたい院内保育

結婚・出産後も働く女性が増え、医療や介護現場では「院内保育所」への期待が高まっています。「院内保育労働実態調査」の報告と情勢を学び、院内保育所改善に向けて交流します。院内保育所の取り組みや保育士の悩み、子どもにとっての「より良い保育とは何か」を交流し、実践につなげていきます。

第 3 分科会 医療・介護制度を良くしたい

いま、医療や介護を利用できない患者さんや、地域住民が発生しています。それはどんな背景があるのでしょうか。この分科会では医療や介護制度をよくするためには何が必要なのか、事例を通じて考えていきます。医療制度、介護制度、診療報酬・介護報酬改定の影響も学びます。

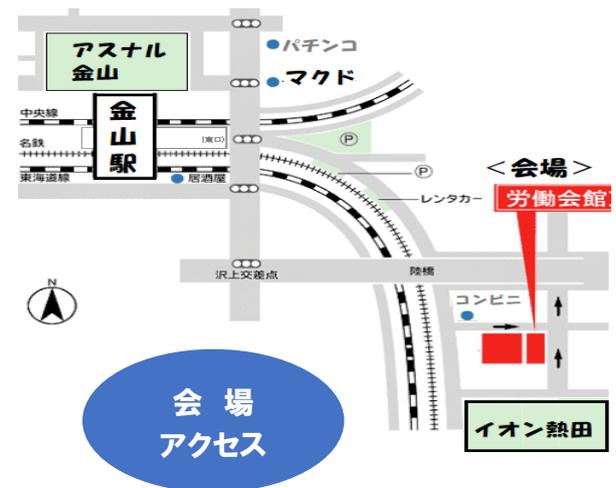
第 4 分科会 働き方改革

～労働者側からできるアプローチ～

働き方について問われている今、医療の現場でも働き方改革の波が押し寄せてきます。安心して働き続けるために、労働者側からも積極的に使用者に提案し改善させることが求められています。職場の健康・安全衛生について学び、取り組み方法を共有し、自施設で活かすためのきっかけを一緒に考えましょう。

第 5 分科会 患者中心の精神医療

日本の精神医療は、2014年に障害者権利条約を批准し、地域への移行に力を入れ始めていますが、隔離収容政策は変わっていないのが現状です。閉鎖的で病院主体の精神保健福祉政策をどうしたら改善できるのか。諸外国の改革や日本医労連が作成した精神医療の提言を学び、より良い精神医療の実現に向けた学習と交流をすすめていきます。



参加申し込み〈FAX・メールで申し込みください〉申し込み〆切 2018年5月14日(月)
 FAX 052-883-6956 メール irouren@roren.net

参加者名	氏名() 組合または事業所() 電話() メールアドレス()
映画とトーク	① 上映会に参加する ②参加しない
分科会	① 食事介助 ② 院内保育 ③ 医療介護制度 ④ 働き方 ⑤ 精神医療
職種	①医師 ②薬剤師 ③看護師 ④看護助手 ⑤保育士 ⑥介護職 ⑦事務職 ⑧技術(リハ・検査・XP・栄養士・調理師・SW) ⑨他() ⑩一般参加
弁当/保育	お弁当 ①必要 ②不要 / 保育 ①必要(男・女 歳) ②不要